

 群馬県立県民健康科学大学

看護学教員養成課程

2025

*Education Program for
Nursing School Teachers*



看護学教員養成課程

Education Program for Nursing School Teachers

科学的根拠に基づく看護学教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、看護とその教育の充実、発展、革新に向け寄与する人材の育成を目指します。



学長挨拶

柏倉 健一 Kenichi Kashikura

本学では、学部・大学院を通じて看護人材養成に取り組む一方で、看護学教員養成課程を開設し、看護師養成校の教員養成を行っています。この課程は、平成24年から、本学地域連携・キャリア開発センター事業の一環として実施しているもので、これまでの12年間で、計180名の修了生を送り出しています。修了生は地域の看護師養成機関や医療機関へと戻り、看護師養成校における教育や病院での院内教育などで活躍しています。

本学は、杉森みどり初代学長のころから、日本の看護教育をリードしてきました。こうした伝統のうえにたち、本課程は日本の中でも特色ある教育プログラムとなっています。大学基準協会による大学認証評価においても、きわめて高い評価を受けています。本課程を修了すると、厚生労働省による専任教員養成講習会修了者として認定されます。また、大学院博士前期課程のキャリア開発コースへステップアップを目指すこともできます。

看護人材養成への高い志をもつ皆さん、私たち群馬県立県民健康科学大学で一緒に学んでみませんか。



地域連携・キャリア開発センター長挨拶

廣瀬 規代美 Kiyomi Hirose

看護学教員養成課程は、看護師養成教育機関の教員や臨床現場で教育的役割を担う人材育成を目的に、地域連携・キャリア開発センターの主要事業として13年目を迎えました。

本課程では、本学の生涯発達看護学実習の教授活動における参加観察実習があります。実習目標達成に向けた授業設計と、学生の反応・思考過程をふまえた教授活動の実際から学修するものです。また、公開授業を通し課程生・修了生が相互に学び、フォローアップを図る等、多様な学修の機会を提供しています。

さらに、令和5年度より群馬県看護学実習指導者養成講習会を開講しました。これは、看護学実習指導者養成講習会、看護学教員養成課程、大学院博士前期課程キャリア開発コースへと学修内容の積み上げにより、今後の看護学教育の充実・発展・革新に寄与できる人材育成、キャリアアップへの道が開かれたことを意味します。

本課程は、教育実践力や教育管理者として組織運営力を養うための魅力あるカリキュラムを展開し、看護教育実践の質の向上を目指す皆さんを応援しております。

特色

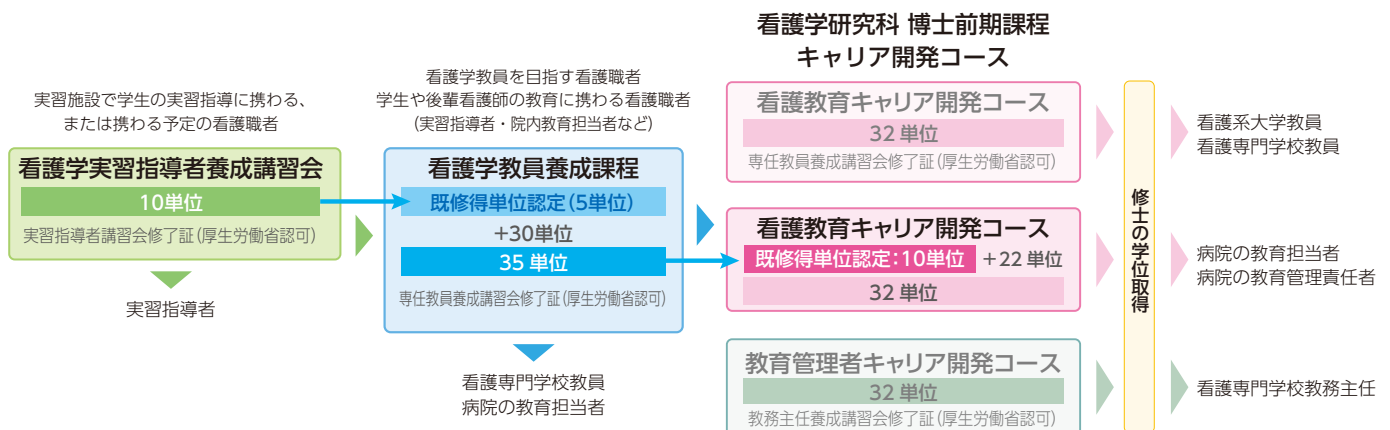
群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程は、2012年に大学の地域連携センター事業として開設され、12年が経過しました。本課程は、大学の教育理念に基づき独自の統合カリキュラムを編成し、教育を展開しています。本課程の最大の特徴は、**大学看護学部の看護基礎教育と連動**している点にあります。看護学部がバックアップ体制を整え、大学の学習環境を最大限に活用して、実際の看護基礎教育の現実を身近に感じられる**ダイナミックな授業**を展開しています。これにより、本課程生は、学修した知識と教育実践とのつながりを持ちながら、1年間学修することを通して、**看護基礎教育・看護継続教育の実践に必要な能力**を着実に修得しています。この能力は、**看護学教員を目指す看護職者**だけでなく、病院の実習指導者や院内教育担当者など、**学生や後輩看護師教育に携わる看護職者**にとって教育実践上の基盤になります。

看護学教員養成課程のあゆみ

- 2012年 4月 群馬県立県民健康科学大学地域連携センターに開設される。
- 2018年 4月 大学院看護学研究科博士前期課程「キャリア開発コース」開設に伴い、大学院への進学の手が開かれる（10単位を既修得単位として認定）。
- 2023年 4月 看護学実習指導者養成講習会の開設に伴い、講習会から本課程への進学の手が開かれる（講習会の5単位を既修得単位として認定）。
- 2024年 4月 「地域連携センター」を「地域連携・キャリア開発センター」に名称変更。

- 本課程は、厚生労働省による専任教員養成講習会の認定を受けています。
- 本課程は、厚生労働省教育訓練給付金（一般教育訓練）講座の指定を受けています。
- 「キャリア開発コース」
大学や専門学校など看護基礎教育機関の看護学教員として必要な教育実践力、または、教育管理責任者として必要な組織運営力を担える人材の養成を目指すコースです。
- 2019年 公益財団法人大学基準協会による**大学認証評価**において、**極めて高い評価**を受けました。

看護学教員養成課程と看護学実習指導者養成講習会・看護学研究科博士前期課程（キャリア開発コース）のつながり



キャリア開発コース

看護師として5年以上の実務経験のある教員のキャリア・ディベロップメントに向け、教授活動力及び組織運営力を開発・発展できる能力の修得を目指します。研究科に2年以上在籍し、所定の単位（32単位以上）を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上で学位論文の審査及び最終試験（口頭試問）に合格することが修了要件です。

授業科目と担当教員

分野	科目名	単位数	時間数	担当教員	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月
基礎分野	看護実践と倫理	1	15	金谷悦子 高橋裕子									
	教育実践と倫理	1	15	金谷悦子 高橋裕子									
	情報と教育	1	15	狩野太郎 非常勤講師									
	教育の原理	1	15	非常勤講師									
	教育評価論	1	15	非常勤講師									
	青年期の発達と学習	1	15	垣上正裕 非常勤講師									
専門分野	看護の本質と専門性Ⅰ	1	15	山下暢子									
	看護の本質と専門性Ⅱ	1	15	高橋裕子									
	教員と学生の理解	1	15	山下暢子 河内直美									
	看護学教育制度論	1	15	山下暢子 服部美香 河内直美									
	看護学教育課程論Ⅰ (カリキュラム編成の基礎)	1	15	山下暢子 高橋裕子									
	看護学教育課程論Ⅱ (カリキュラム構造の理解)	2	30	高橋裕子 非常勤講師									
	看護学教育展開論Ⅲ (カリキュラム編成の実際)	5	135	高橋裕子									
	看護学教育授業展開論Ⅰ	1	15	非常勤講師									
	看護学教育授業展開論Ⅱ (講義)	5	120	松田安弘 高橋裕子						教育	実習		
	看護学教育授業展開論Ⅲ (演習)	3	90	松田安弘 高橋裕子									
	看護学教育授業展開論Ⅳ (実習) ※	3	90	松田安弘 高橋裕子						教育	実習		
	看護学教育評価論	2	45	服部美香									
	看護学教育研究 (研究成果の活用)	2	45	松田・宮崎 上山・清水 河内・高橋									
	看護学教育組織運営論	1	15	横山京子 非常勤講師									

夏季休業

【主な授業担当教員】

教授 松田安弘、山下暢子、狩野太郎、宮崎有紀子、横山京子

准教授 服部美香、金谷悦子、上山真美、清水裕子

講師 高橋裕子、河内直美、垣上正裕

【教育担当者】高橋裕子

本課程では、大学看護学部教員を中心に授業を提供しています。また、専任の教育担当者が1年間の学修過程をサポートしています。

※看護学教育授業展開論Ⅱ・Ⅳでは、授業担当教員の指導により、大学、専門学校で教育実習を行います。

※2024年度現在の内容となります。

授業の様子

看護学教育授業展開論Ⅱ



看護学教育授業展開論Ⅱ・講義 模擬授業



看護学教育授業展開論Ⅱ（講義）では、看護学の講義の特徴、授業設計とその展開について学修します。また、看護学部学生に提供されている授業を参加観察します。その後、看護学教育課程論とこの科目の学修成果を基に、実際に講義の授業設計・模擬授業を行います。

看護学教育授業展開論Ⅲ・演習 模擬授業



看護学教育授業展開論Ⅲ（演習）の講義を受けた後、看護学部学生に提供されている授業をその演習の前提となる講義も含めて参加観察します。その後、看護学演習における「教授＝学習活動」の特徴、学生の主体的学習を促すための授業設計について学修します。また、この学修成果と教育実習での経験を基に、実際に技術演習の授業設計・模擬授業を行います。

2025年度 入学者選抜の概要

募集人員	20名
修業年限	1年間(12ヶ月)
授業料	250,000円（県内） 300,000円（県外）
第1次出願期間	2024.10.10～11.29
第1次入学試験日	2024.12.12
合格発表日	2024.12.20

選抜方法	「面接」「小論文」書類審査
試験会場	群馬県立県民健康科学大学
受験料	8,000円
第2次出願期間	2025.1.10～2.12
第2次入学試験日	2025.2.20
合格発表日	2025.2.27

※詳細については、本学ホームページをご確認ください。

※2次募集は、上記日程による1次の入学者選抜試験の結果、入学手続者が募集人数に達しなかった場合に行います。

主な年間スケジュール

入学式	4月4日
授業開始	4月8日
公開授業	7月25・26日
夏期休業	8月6日～9月30日

教育実習	10月15日～11月15日
冬期休業	12月25日～1月5日
公開授業	2月4日
修了式	3月25日



夏に行われた看護学実習指導者養成講習会への参加がきっかけで、養成課程に入学することを決めました。臨床の仕事はとてもやりがいがありましたが、新人看護師の指導にあたる中で、悩みや不安も抱えていました。講習会での学びにより、日々悩んでいたことの解決の糸口になったことで、教育に興味をもちました。看護基礎教育機関で教員になるか、臨床に戻り新人看護師の育成にあてるか、まだ決まっていませんが、養成課程で教育について深く追求していきたいと考えています。

私は長い間大学病院で臨床を経験してきました。認定看護師を取得し、新人、現任看護師教育に携わり、また看護学生の実習受け入れ病院として学生の指導に関わり、その時々でベッドサイドで臨床指導を実践してきました。この経験を活かし、今の医療現場の現状を未来の医療を支える看護学生に伝えて育てたい。その思いで今後は、看護学校で教員になることを決意しました。養成課程での講義は始まったばかりですが、1つ1つの講義すべてが、経験を経た今だからこそ深く感じ取ることができます。一緒に学ぶ仲間は、同じ思いを共有できる頼もしい存在です。1年後、看護学生に自信をもって講義できるよう大切に学びを進めていきたいと思っています。



病院で実習指導者として学生と関わり、「学生の成長に携わるのって楽しい」と感じ、教員になりました。看護学校で勤務して3年目になりますが、「講義や実習指導はこれでいいのだろうか」と日々感じていました。学生のために、自分も教員として成長し、質の高い教育を提供したいと思い、養成課程に入学しました。久しぶりの講義に慣れない毎日ですが、学生の立場となり、有意義な日々を過ごしています。実際に演習を行うことで、より深い学びを得られると実感しています。そして、ここで出会えた仲間と切磋琢磨し、頑張っていきたいと思っています。

入学してまだ1ヶ月ですが、自分がいかに何も知らないまま講義をしていたかを思い知る毎日です。1つの科目を設定するまでの過程には、たくさんの人の信念と計り知れない時間と労力が必要なこと。1コマの授業展開の中にも数え切れないほどの準備やスキルが詰まっていること。今はまだ知識として修得している段階ですが、それらが実践できるように今後も日々研鑽を積んでいきたいと思います。また、ここには、同じ目標を持った仲間が集まっています。今まで自分が知り得なかったことを仲間から学ぶことも多く、本当に刺激的で充実した毎日です。家庭との両立で大変なこともあります。出会った仲間と共に最後まで学習漬けの日々を楽しみたいと思います。

私は看護学教員として学生と関わるようになった際、教員としてどの様に学生に関わったら良いのか漠然とした知識しかありませんでした。看護学教員養成課程で授業成立のため必要な要件と授業展開に必要な技術を学んだことにより、「教員は何をする者なのか」が明確になりました。今は、学習した成果を活用して、目標達成に向けた教育内容の精選とそれを伝えるための授業設計、そして学生の反応にあわせた授業展開に取り組んでいます。これからも教員としての自分の信念を大切に、学生と関わっていきたいと思います。

10期生 看護師養成教育機関の教員を継続している H・Sさん

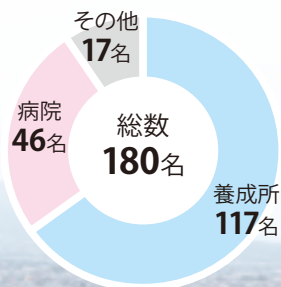
私は、看護学教員養成講座を修了後1年間の臨床経験をしたのちに、看護学校にて専任教員となりました。養成課程での学びで、講義・演習・実習の学習の繋がりと、各講義における学習目標達成への教員の取り組みの姿勢と方法など、多くの学びを得ました。現在、専任教員となり多くの学生と接し教授活動を行っていますが、実際には学習してきたことを実践する難しさも感じています。しかし、迷いが生じたときは自身の養成課程での学びに立ち返り、看護学教育の在り方を再確認するようにしています。これからも、未来を担う看護師を育成する立場に責任を持ち、看護学教員として自己発展に向けて日々励んでいきたいと思っています。

10期生 看護師養成教育機関の教員を継続している M・Mさん

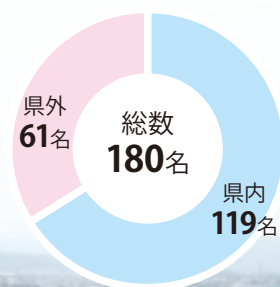


修了生の状況

入学時就業先



修了生数



県外

埼玉県、栃木県、長野県、新潟県
富山県、石川県、福島県、山形県
岩手県、宮城県、青森県、三重県

■ 学生募集要項(願書含む)の請求方法

群馬県立県民健康科学大学看護学教員養成課程までご請求ください。
ホームページからもダウンロードできます。

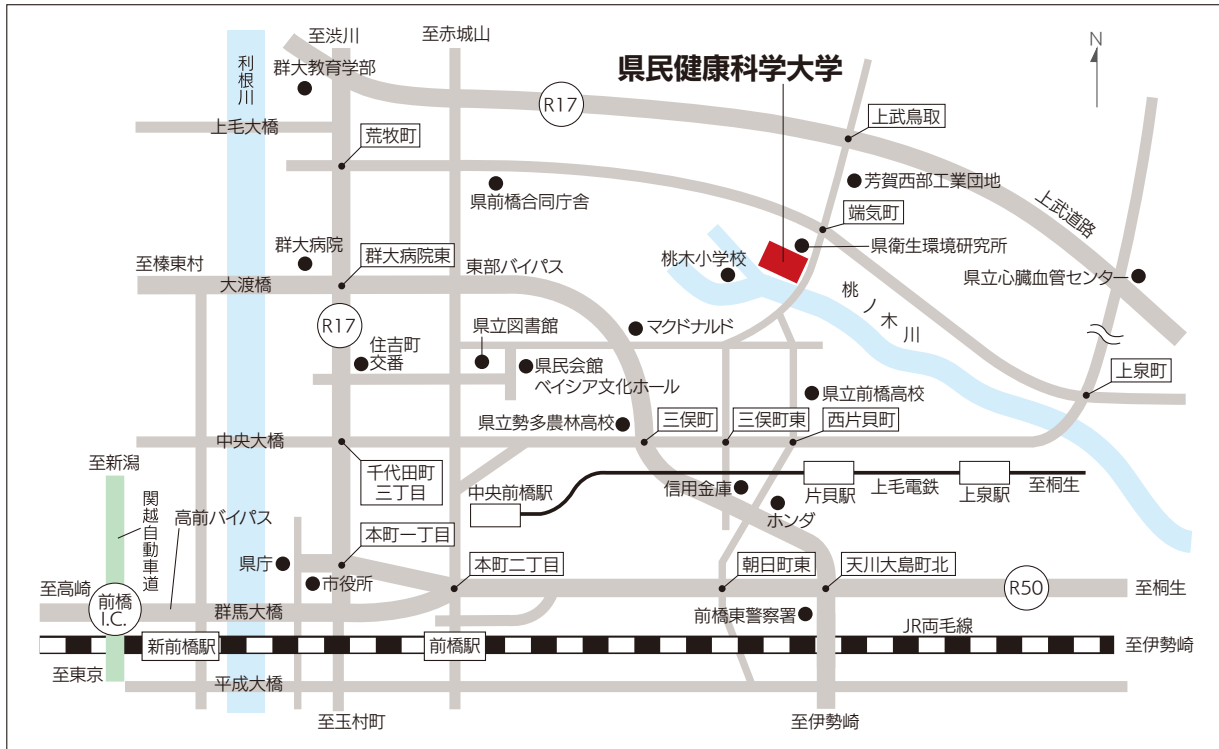


群馬県立県民健康科学大学

Gunma Prefectural College of Health Sciences
看護学教員養成課程



〒371-0052 前橋市上沖町323-1 Tel.027-235-1211 Fax.027-235-2501
URL <https://www.gchs.ac.jp> E-mail: kyouinyousei@gchs.ac.jp



access

[公共交通機関]

- JR「前橋駅」北口6番乗り場、永井バス小坂子、または荻窪公園行き「県民健康科学大学前」下車
- 上毛電鉄「片貝駅」から徒歩約15分

[自動車]

- 関越自動車道前橋I.C.から約20分